

新島崎川水系河川整備計画 流域協議会（第1回）議事要旨

日 時：令和8年1月27日（火）午後1時30分～午後4時15分
場 所：長岡地域振興局地域整備部与板維持管理事務所 1階 会議室
出席者：陸会長、鳥居委員、池浦委員、山田委員、宮田委員、桑葉委員、
金子委員、川瀬委員、江田委員、小林委員、長谷川委員（代理出席）

【配布資料】

- ・資料－1 次第
- ・資料－2 委員名簿
- ・資料－3 座席表
- ・資料－4 設置要綱
- ・資料－5 説明資料
- ・資料－6 写真帳
- ・資料－7 新島崎水系河川整備計画（原案）

【議事の概要】

- (1) 委員紹介及び会長選出
 - ・陸委委員を会長に選任
 - ・会長職務代行として、鳥居委員を選任
- (2) 河川整備計画と流域協議会の目的について
 - ・河川法の変遷、河川法における河川計画制度などについて説明
- (3) 河川整備計画原案について（流域と河川の概要）
 - ・新島崎水系の概要、河川の現状と課題について
- (4) 現地調査（写真・動画により）
 - ・現在の新島崎川の状況について確認（写真・動画により）
- (5) 河川整備計画原案について（目標・実施に関する事項ほか）
 - ・目標に関する事項、実施に関する事項、情報の共有と地域の連携などについて
- (6) 今後の予定について
 - ・住民説明会を令和8年2月19日（予定）、第2回協議会を令和8年3月に開催予定
 - ・河川整備計画（案）の作成後、地方公共団体の長の意見聴取、北陸地方整備局長認可を受け、河川整備計画決定・公表

【委員からの主な意見】

【委員】

- ・ 田んぼなどが浸水していても民家が浸水しなければ水害と見なされないのか。

【事務局】

- ・ 田んぼが浸水していれば水害と言えるが、水害統計の整理では、当該地域の水害は内水氾濫と整理されており、川からの氾濫とは言えないということである。

【委員】

- ・ 洪水時、円上寺隧道の入口が満水でも、出口からあまり水が出ていないように見える。

【事務局】

- ・ 洪水時の円上寺隧道の状況について、何かできることはないか持ち帰り検討する。

【委員】

- ・ 整備計画に記載の生物の中には、現在は生息していないものや、周辺の生息地から偶発的に移動してきた種（本流域を生息地としていない種）がいるのではないのか。

【事務局】

- ・ 環境調査の状況について確認する。

【委員】

- ・ 双川橋の水が抜ける二つの穴について、ゲートを設置するという話を聞いたが、県で実施するのか。

【事務局】

- ・ 双川橋の上流は、新島崎川の指定区間外となるため、持ち帰り他の機関などに確認する。